

創立40周年

ようこうだより

2021年度



One team
for the future
on the community



～館邑会理念～

私たちは、地域の方たちと
ワンチームになり
誰もが輝ける社会をつくります。

創立四十周年!

館邑会理事長挨拶

社会福祉法人館邑会は創立から40年が経過致しました。令和3年度は節目の年なので、本来ならば、利用者や関係者でお祝いをするところでした。しかしながら新型コロナウイルスの終息には程遠い現状を考えますと、特別な式典など行うことは出来ません。その代わり表紙に掲載いたしました。館邑会のロゴと理念を刷新することといたしました。

陽光園が開所されたことを思い出しました。それから今まで地域のニーズに耳を傾けながら必要とする福祉サービス事業所を展開してきました。この様に館邑会では、館林・邑楽地域と共に歩んできたことが再確認できました。そして、これからも「誰もが、幸せに・楽しく・安心して・この地域の中で輝きながら暮らせる。」このことを目指しながら発展し続けていきます。その他にも様々な考えや思いが数多く出されました。これらを取りまとめ、新しい館邑会理念が作られ、この思いを意味する、ロゴが作られました。

理事長 山川 博

笑顔を大切に!

陽光園

新型コロナウイルスとの戦いが続いている令和3年度。陽光園では、送迎車に乗車前の検温や送迎終了後の消毒、園内の消毒、アクリル板の設置等、対策を強化しています。また、陽光園の利用者さんの年齢層が広がり、今後の高齢化を踏まえ、2班体制から3班体制でスタートしました。

利用者さんの得意なこと、好きなことを発見したり、優しさやガンバリに触れるたび、それぞれに違った個性があることを感じています。みんなが楽しく集い、その笑顔を支援する場所。今日も陽光園には笑い声が響いています。

B班では、構造化を取り入

勤続25年 阿部稚子



新たな挑戦！

第二陽光園

第二陽光園では新型コロナウイルス感染症の影響で、帰省や買い物、グループ旅行など利用者さんが楽しみにしている活動に制限をかけなければならぬ状況が続いています。

園内で利用者さんが楽しめることは何かないかと考える中で「新たな挑戦」として「第二陽光園内にお店を出せないか」との考えに及びました。

訪問買い物会「おひさまデパート」協力のもと、感染症対策を十分に行い、新棟にて買い物会を開催しました。

事前に利用者さんに買いたい物を伺い、実際に陳列された商品を見比べて、「これは！」と思ったものを選び、お会計までの流れを体験しま

した。普段生活している空間が「お店」になったことも含めて、久しぶりの買い物を楽しんでいる姿が伺え、たくさん笑顔が見られました。

今後も利用者さんの笑顔の為にコロナウイルスに負けないうよう、様々なチャレンジをしていければと思います。



生活支援員

勤続8年

山崎昂輝

「コロナが終わったら旅行いこうね」

ふらっぐへ

ふらっぐ職業指導員の上武と申します。ふらっぐでは毎日利用者さんと共にパン、クッキー、お弁当の製造販売や、請負作業を行っている事業所です。

世界中を巻き込んでいるコロナ禍の影響は当然ながら、ふらっぐでも例外ではなく、残念ながら売り上げは伸び悩み、持ち返してきているものの減収となっているのが現実です。そして、その影響は利用者さんの工賃にも大きく及んでいます。

また、そのみならず皆さんが楽しみにされておられる、日帰り旅行やTDL・TDS 1泊旅行、全国を制覇する予定だった2泊旅行、美味しい料理やお酒、飲み物に舌鼓を

打ちつつお祝いする、「就職者を祝う会」、人生の節目を盛大にお祝いする「成人を祝う会」、週末の集う場所「たまり場」※警戒度によります。」これらすべてのが残念ながら中止にせざるを得ない状況です。

それでも、皆さんは毎日ふらっぐに通われて、お仕事を頑張っておられます。

ここで、今一度タイトルをご覧ください!! 「コロナが終わったら旅行いこうね」この言葉は職員ではなく、ある利用者さんが言われた言葉です。もう説明はいりませんね。とても素晴らしい、頭の下がる思いで、職員として一層努力してまいります。

職業指導員

勤続9年

上武克美

様々な制約のある現状下で

生活支援員

コロナ禍においてホームでの暮らし方にも、以前とは大きな変化がみられています。毎日のマスクの着用やこまめな消毒。食堂での仲間とのふれあいながらの食事から自室での食事。そして外出の自粛。そんな日常も今では当たり前の情景となりましたが、「利用者者が安らげるくらしを、利用者と共に作っていく」を合言葉に利用者の皆さんが充実した毎日を送れるように努めています。

様々な制約のある現状下でも余暇支援として多くのイベントを企画し、利用者の皆さんに楽しんで頂いています。今年度は自分の好きなメニューのテイクアウトやかき氷会、少人数でのドライブ、お墓参

りなどを行ってきました。

また帰省や外出が制限されることにより、不安を強く感じてしまう利用者さんには、今まで以上に向き合い、寄り添い一緒の時間を過ごすことにより、信頼関係を深められたのではないかと思います。

十月に入り緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ先の見通しはつきません。今後も利用者の皆さんに楽しい毎日を送って頂けるよう創意工夫していきたいと思えます。



生活支援員

勤続8年 石田以久子

わがこと...

ほっぺ

館林邑楽相談支援センターほつとでは、現在2歳のお子さんから90歳の高齢の方まで、障がいをお持ちの約九百人の相談者があり、ご本人やご家族の日常生活や社会生活を営む上で、お困りな事や悩み等の相談を受け、ご本人が望む生活に近づけ、自らが選択していけるように、様々な関係機関と共にチームとなり、福祉サービスの案内や調整、社会参加等の情報提供を行っております。

相談を受けていく中で、相談者やそのご家族が前に進めず立ち止まり、時には後ずさりする気持ちになることもあります。そんな時でも、私達相談員は、ともに寄り添いながら、再び前を向いて一歩踏

み出せることを信じ、見守って待つことも大切な事だと感じています。

今後も、新たな感染症や自然災害への不安は続くかと思えます。又、少子高齢化の中で、家族や地域で支えあう力も弱まる中、私達は、地域での課題を自立支援協議会に吸い上げ、関係機関の皆様と共に協力しながら、より良い地域福祉の発展に繋げていく役割も担っております。

オリンピック、パラリンピックで感動した時の、世界の共通である『笑顔』とともに、微力ではありますが、一歩前へ踏み出していききたいと思っております。

相談支援専門員

勤続4年 中田陽子

新たな挑戦に向けて

ういず

コロナの感染状況がなかなか収まらない時期が続いていますが、ういずでは感染対策に取り組み、お子さんたちが安心して楽しく利用できるように努めています。

「新たな挑戦に向けて」

3人〜5人くらいの少人数で行う「グループ課題」を導入しました。「グループ課題」の目的は、他者と自分の考え方の違い、人の話を聞く、気持ち伝える、考える力を養うなど日常生活の中で大切なスキルを身に付けてもらえるように取り組んでいます。

「グループ課題」で提供している課題は絵をよく見る事で2つの絵が浮かび上がるトリックアートやカードに書かれた質問の答えをト

キングゲーム、SST絵カードなどを使用しています。



これから子ども達がよりよい利用が出来るように一日一日を大切にし、安心して過ごせる場所の提供が出来るように、今後とも職員一丸となつて努力をしていきたいと思っています。

保育士

勤続5年 大木翔太

いつでも前向きに 楽しく

GOOD JOB

収束の見えないコロナ禍に

おいて様々な企業が影響を受ける中、GOODJOBにおいても仕事がストップして再開の見通しが立たずにいます。工賃確保の為の新たな取り組みとして、今まで請け負ってきた作業だけでなく、新しい作業や短期間の作業にも前向きに挑戦しています。東部水道局の作業では、日頃より行っている除草作業ですが、違った場所で行うというだけで新鮮な気持ちになり、生き生きと取り組む姿が見られました。休憩を取る事も忘れて夢中になり、予定していた半分の時間で終える事ができました。多々良フレッシュファームでは、昨年よりも少ない人数と時間でしたが予定通りに

進める事ができました。

感染予防の為、楽しみにしていたイベント等を行う事ができずに自粛の日々が続いています。そんな中で、仲間の一人がダノンジャパンに就職をした事は、とても嬉しい出来事であり、皆に明るい希望を与えてくれました。

これからも仲間と喜びを分かち合い、助け合い、笑顔で過ごせる明日へとつないでいくよう努めていきます。



職業指導員

勤続3年 川内真希

職員研修と人材育成

研修委員会

今年度、館邑会職員研修委員長を務めております、ふらつぐの鰐石です。

研修委員会の目的は大きく4つあります。

- ① 館邑会職員に研修の場を提供する。
- ② 研修を通して障害福祉に必要な知識と技術を身に着ける。
- ③ 研修を通して職員の交流を図る。
- ④ 研修を通して職員の人材育成につなげる。

以上4つの目的をもとに今年度も各事業所より一名の委員を選出し、合計八名で委員会を開催しております。

その中で、今年度の研修の

目玉は、各事業所より研修テーマを持ち寄り（事例検討、好事例紹介、事業所紹介・・・）参加者で話し合う研修会を予定しております。

その参加者も、普段研修や会議などになかなか参加することのできない、臨時職員やパート職員を対象とし、できるだけ参加のしやすい時間帯の午前十時～午前十一時半までの一時間半を予定して準備を進めてまいりました。

しかし、コロナの影響により延期に次ぐ延期で、いまだ開催が出来ておりません。この先の状況を注視し、感染対策を取りながら進めてまいります。

委員長 鰐石英男

「当たり前前の生活」を支える為に

虐待防止委員会

はじめまして。虐待防止委員会 委員長の程原です。

今回ようこうだよりに初めての登場。委員会活動についてご報告をすることになりましたので、虐待防止委員会の活動内容について説明させていただきます。

（社福）館邑会 虐待防止委員会は、平成27年4月に発足。利用者の安全と人権保護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることをないよう、虐待防止に努めることを目的として設置されました。

現在は、館邑会各事業所の虐待防止委員が中心となり、年3回を基本として会を開催しています。

活動内容は、①虐待防止に係る研修の実施と各事業所の研修内容の精査②各事業所で生じた不適切な利用者対応案件に対する検証と再発予防策の検討③虐待を予防するための職場づくりのための体制チェックリスト・職員が自身の支援を振り返るためのチェックリストの作成等を行っています。今年度は、来年度から義務化されている「身体拘束適正化のための指針」を委員会として作成しています。

虐待防止というと、どうしてもマイナスのイメージが強いですが委員会としては、利用者の当たり前前の権利・よりよい支援に着目して活動を続けていければと考えています。

委員長 程原一行

館邑会から情報発信

SNS委員会

今年度より新設されたSNS普及委員会、委員長のふらつぐ鰐石です。

SNSとは、ソーシャルネットワークサービス略で、登録された利用者同士が交流や情報発信、情報交換ができるサービスです。

LINE・Instagram

Facebook・Twitter...

何かしら、皆様も利用されていることでしょう、そのメリットは情報収集と情報発信力です。その特性を生かし、館邑会の「楽しい様子」「すごい特性」「映える写真」等々、日々私たちが感じている障害福祉の仕事の色々な部分を、SNSを活用して情報発信し、多くの方に館邑会を知って頂き、興味を持って頂

き、そしてこの地域における障害福祉サービスの仲間、理解者を増やしていきたいと考えております。

利用にあたり委員会の中でルールを設け、個人情報を取り扱う意識を高く持ち取り組んでおります。

多くの方にご覧いただき、少しずつ広がっていきたくと考えております。

皆様のフォローお待ちしております。

委員長 鰐石英男

館邑会 HP は
こちらの QR コードから



各事業のづか案内

館邑会事務局長 田中良治
(令和3年4月就任)

陽光園 昭和56年4月
生活介護 定員55名 職員27名
所長 黒田香代美
(平成29年4月就任)

第二陽光園 平成8年4月
施設入所支援・生活介護 定員50名
短期入所・日中一時支援
職員44名
施設長 程原一行
(令和3年4月就任)

ういず 平成25年4月
放課後等デイサービス 定員10名
職員5名
管理者 越澤朗
(令和3年4月就任)

ほっと 平成19年1月
相談支援事業 職員13名
センター長 仁木紀行
(令和3年4月就任)

てんしやば 平成17年2月
共同生活援助 定員19名
職員18名
管理者 木村 孝
(平成29年4月就任)

ふらつぐ 平成21年10月
就労継続支援B型 定員20名
職員4名・16名 (GOODJOB 兼務)
所長 鰐石英男
(令和3年4月就任)

GOODJOB 平成30年4月
就労継続支援B型 定員20名
職員5名・16名 (ふらつぐ兼務)
所長 中村建児
(平成30年4月就任)

表彰披露

社会福祉事業従事功労者厚生労働大臣表彰を受賞して

この度は、栄誉ある厚生労働大臣表彰を賜り、誠に光栄に存じます。

受賞の知らせを頂いた時は大変驚きました。そして、これまで数えきれない人との出会いがあったという思いがこみ上げてきました。

昭和56年に陽光園が誕生し、私は指導員（現在の支援員）として採用されました。平成8年には第二陽光園が開所すると同時に私も第二陽光園に異動になり、約20年間勤務させていただきました。

そして、平成29年に陽光園に戻ってきて4年、スタートラインに立ち返って思うことは、ただただ感謝の2文字です。

沢山の方から多くのことを教えていただいて、40年もの間仕事を続けることができました。失敗したこともあった、迷惑をかけたこともあったと思いますが、嬉しかったことや楽しかったことはそれよりももっとと沢山あって、その時々に見せてくれた利用者様の笑顔は私の財産となっています。きっとこれから、心の支えになってくれることと思います。

今の私があるのは、これまで出会ってきた人たちが皆様のおかげであると、心から感謝を申し上げます、お礼の言葉といたします。

陽光園 所長 黒田香代美



◇社会福祉事業従事功労者 厚生労働大臣表彰

令和3年3月19日陽光園にて陽光園黒田香代美所長の厚生労働大臣表彰の伝達式が執り行われました。

伝達式には県職員の方々にお越しいただき、館邑会理事・監事・管理者同席のもとに行われました。心よりお祝い申し上げます。

◇日本知的障害者福祉協会知的障害者福祉事業功労者（20年）

ふらっぐ

鰐石英男

所長

陽光園

齋藤典子

生活支援員

◇群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰（10年）

陽光園

新井孝明

主任 生活支援員

陽光園

関根尚未

生活支援員

第二陽光園

張 載萬

調理員

第二陽光園

堀江洋平

主任 生活支援員

寄付金・寄贈品

(令和2年7月～令和3年6月)

◇法人本部

館林西ロータリークラブ 様	50,000円
館邑会後援会 様	150,000円
株式会社千代田設備 様	500,000円

◇陽光園

館林市手をつなぐ育成会 様	301,300円
公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団 様	ハイエース1台

◇第二陽光園

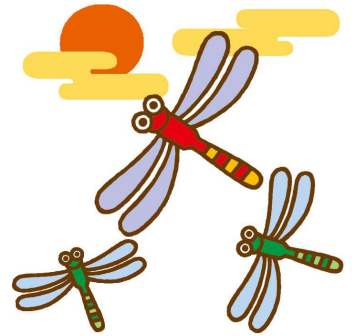
館林市手をつなぐ育成会 様	214,000円
---------------	----------

ご厚情に心より感謝申し上げます。

感謝



陽光園送迎バスとして活躍中



令和2年度 事業報告

1. 役員会等の状況

(書)は書面議決による決済

開催日	事業名	内容
6月10日	第1回理事会(書)	令和元年度事業報告書・決算書 評議員会開催について
6月24日	定時評議員会	令和元年度事業報告書・決算書
7月28日	第2回理事会	給与規定の変更 陽光園送迎車輛指名業者選定
8月20日	第3回理事会(書)	陽光園送迎車輛契約について
9月1日	第4回理事会	定款変更・補正予算 陽光園送迎車輛(中央競馬馬主)指名業者選定 評議員開催について
9月14日	第2回評議員会	定款変更・補正予算
9月17日	第5回理事会(書)	陽光園送迎車輛(中央競馬馬主)購入契約
11月10日	第6回理事会	陽光園建替に伴う設計業者選定 第二陽光園北側運動場多目的広場の土地購入について
12月9日	第7回理事会	陽光園建替工事設計業者選定
12月23日	第3回評議員会(書)	補正予算
1月6日	第8回理事会(書)	陽光園送迎車輛購入契約
2月19日	第9回理事会(書)	陽光園建替工事設計監理業務委託契約 補正予算・評議員会開催について
2月26日	第4回評議員会(書)	補正予算
3月15日	第10回理事会	補正予算 第二陽光園・ふらっぐ・GOOD JOB運営規定変更 給与規定変更・就業規則変更・表彰規程変更 令和3年度事業計画書・予算書 管理者の選任・評議員会開催について
3月29日	第5回評議員会	陽光園建替工事設計監理業務委託契約 補正予算・令和3年度事業計画・予算書

2. その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
8月1日	館邑会後援会(書)	決算・予算、事業報告
8月4日	第三者委員会	各事業所から運営近況報告、苦情受付状況報告
10月	秋まつり	～中止～
2月	新年会	～中止～

苦情処理結果報告

令和2年10月1日～令和3年9月30日現在

事業所名	受付時期	苦情の内容	解決結果	解決レベル
GOODJOB	R3.8.4	支援員の支援態度	本人と話し合いをして、支援について納得していただいた。	管理者
GOODJOB	R3.8.17	就労継続支援（B型）の支援のあり方	本人と話し合いをして就労継続支援（B型）事業について説明をさせていただいた。合わせて支援について説明を行いご理解をいただいた。	管理者
てんしゃば	R3.8.20	近隣に住む男性より館邑会事務所に騒音による苦情の電話が入る。苦情の内容は早朝6:00頃より騒音がひどいということだった。R2/6/18にも同様の苦情があった。	騒音（パニックにより大声を出す、床を踏み鳴らす）があった時に2階の窓は全て閉めたが、1階は開いたままだったので騒音が漏れた状態になってしまっていた。今後は騒音のある時はホームの窓を全部閉め、騒音を軽減する為の措置を徹底していきたい。	サービス管理責任者
てんしゃば	R3.8.20	バス停にて同乗者の年配女性から●●さんを指し、「いつもこの人から叩かれる。どういふことですか。」と付き添いの世話人に苦情があった。世話人は苦情に対して謝罪し、その旨を管理者、サービス管理責任者に報告する。	苦情に対して世話人が事情を飲み込まず、よく分からないといった対応をしたことに対し、ホーム側の対応を不服として上記のような苦情を申し出たもよう。後日、同乗の際、本人と合わせて正職員が謝罪を行い、また今後同様のことが無いように申出人に話しをする。	サービス管理責任者

社会福祉法人館邑会の役員

1. 評議員

前山秀樹（善長寺住職）

安楽岡信子

三田正信（館林市社協長）

峯崎俊雄（板倉町社協長）

立木留吉（明和町社協長）

久保田 馨（千代田町社協長）

岩瀬寿夫（大泉町社協長）

内田雅行（邑楽町民生委員・

児童委員協議会長）

2. 理事

山川 博（理事長）

太田敏雄

山本 樹

多田征訓

田部井猛夫（邑楽町社協長）

黒田香代美（陽光園所長）

3. 監事

田沼俊彦

栗原則雄

4. 第三者委員

田中美喜雄

平野一男（司法書士）

橋本宏海

館邑会理事谷津義男さんが去る6月3日ご逝去されました。86歳でした。

谷津さんは館邑会第2代理事長を務め、館邑会名誉理事長の故・多田一雄さんと共に長きにわたり館邑会にご支援いただきました。

ここに長年のご厚情に対し深く感謝申し上げます。誠に深くお悔やみ申し上げます。

館邑会役員及び職員一同

編集後記

館邑会も今年で創立40周年を迎えました。節目の年ということで新たにロゴマークを作成しました。封筒や名刺が新たなロゴマークに変わり、SNSもはじまりました。毎回更新を楽しみにしています。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息をお祈り申し上げます。

(A、W)

ようこうだより

令和三年号

編集・発行

社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀八三六の一

https://kanoukai.jp

本部

TEL:0276-89-0600

FAX:0276-88-6930

mail:info@kanoukai.com